

## 第2部 成熟するアジアと世界へむかうヨーロッパ

### 第3章 大西洋世界の変容とその波及

#### 1節 ヨーロッパとアメリカの諸革命

##### ① 革命の時代の開幕（教科書 p.80~81）

#### ■ポイント

- ①18世紀に新しく生まれた啓蒙思想の歴史的役割は何だろうか。
- ②封建社会から近代社会にむかうにつれて、新・旧両勢力の利害関係はどうなったのだろうか。

#### 西ヨーロッパの発展 [p.80]

##### 従来の農業社会の変化

- ・市民層の台頭…貿易の拡大と産業の成長
- ・農民層の台頭…イギリス・フランスで農民の富裕化

##### 自然科学の発展

#### 啓蒙思想 [p.80]

##### イギリス

- ・〔 〕『諸国民の富』
- …〔 〕主義から自由主義経済への転換を主張

##### フランス…18世紀なかばから〔 〕思想が普及（ヴォルテール、ディドロ）

- ・〔 〕『社会契約論』…圧政を批判，市民の統治を説く

##### プロイセン，オーストリア，ロシア…〔 〕の出現

#### 改革の動きのもとで [p.81]

##### 貴族…特権維持と土地・農民への支配強化

→市民・農民の反発

##### 国家と領主権強化による負担の増大

→農民の階層分化拡大

##### 国家体制の強化

→貴族層の抵抗

専制支配への抵抗に民族的性格が加わる

#### 動揺の広がり [p.81]

##### ロシア

- ・〔 〕の農民反乱

##### ペルー

- ・トゥパク・アマルの反乱

##### アメリカ

- ・独立戦争の勃発
- ヨーロッパの革命の先駆に